

日本住を快適空間!

ダンネット通信

2005.12-2006.1 vol.47

発行：株式会社ダンネット 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目63-636 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044



2005年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

謹賀新年

2006年もダンネットをよろしく
お願い申し上げます。



今月のトピックス

重要性増す住宅の防犯・防災対策

1日470軒の住宅に空き巣等

このところ凶悪な犯罪・事件が多く聞かれるようになり、住宅においても空き巣被害などによって財産が奪われるケースが増えています。また、居住者の不注意などによる失火により、人命が失われることも後を絶ちません。このような中、住宅建設においてもより安全・安心志向が強まり、ここ数年はユーザーレベルでも行政レベルでも防犯・防災を重視する動きが活発になっています。

防犯については、やはり空き巣や夜間の就寝時に侵入する忍込み（しのびこみ）など“侵入盗”を意識することが多いようです。警視庁によると、昨年は1日当たり約470軒の住宅が侵入盗被害に遭っており、玄関ドアや窓の鍵をピッキングなどに強い製品にしたり、窓ガラスを割れにくいフィルム付きのものにしたりなど、防犯に対する意識がビルダー以上のユーザーも少なくありません。

都市防犯研究センターの調査によると、約7割の空き巣は侵入に5分かかると犯行を断念し、10分以上かかるとほとんどの空き巣が犯行をあきらめるそうです。つまり侵入にどれだけ時間をかけさせるかが被害を防ぐポイント。そのために

は1つのドアや窓に2つ以上の鍵を付けるワンドア・ツーロックといった防犯の基本を押さえたうえで複数の対策を組み合わせるなど、侵入に手間を取らせる工夫を考えることが大切と言えます。

来年6月から火災警報器義務化

防犯と並んで重要になりつつあるのが住宅火災を防ぐ防災対策です。こちらはどちらかと言えば

行政主導で進んでおり、来年6月から施行される改正消防法によって新築住宅の寝室や階段などに火災警報器の設置が義務化されました。

これは住宅火災の死者のうち、逃げ遅れによる割合が半分以上を占めていることが背景にあり、火災警報器の設置によって逃げ遅れをなくしようとの考えです。具体的な設置基準は各自治体が条例を制定することになっていますが、

早いところではすでに条例を成立・公布した自治体もあるので、問い合わせてみるといいでしょう。

快適性・省エネ性・耐久性の向上に加え防犯・防災対策と、住まいへの要求は年々その数を増してきますが、それらの要求にきちんと応えられるかどうかでビルダーが評価される時代が、もうすぐそこまで来ているのかもしれない。



空き巣に割られた窓ガラス。ユーザーの命と財産を守るには、よりいっそうの防犯・防災対策が必要になる

特集 建築におけるデザイン・カラーテクニク

住宅・建築物にとって性能が大切であることはもちろんですが、見る者に対して感動やインパクトを与えるデザインも重要な要素の一つ。今回は11月に(株)ダンネットと康和地所(株)の共催により札幌で行われた「Sto（シュトー）デザインフォーラム」から、シュトー社デザインオフィスに在籍するマルクス・メルクト氏によるデザイン・カラー概論の講演要旨を紹介しします。

最初に光、そして次に色が重要

デザインにはいろいろな意味があるが、私は最高の機能性と美しさの組み合わせだと考えており、デザインの要素としては「光」がとても重要になってくる。例えば夜に光がないと困るし、森の中にいる時に外から入ってくる光を見ても、光の美しさや重要性はわかってもらえると思う。



マルクス・メルクト氏

そして次に重要な要素として形状やテクスチャー、色が挙げられるが、この中では色が最も影響力を持つ。色は物の表面から光が放出・伝達されて目に見えるものという定義もあれば、目や脳、経験と交わることにより存在するものという定義もある。さらに感覚や知覚と密接な関係があり、目におけるレセプター（受容体）の役目をしているという話もある。色を集めて仕事をすることは

非常に大変だが、しっかりした理論とシステムに基づいて作られたカラーチャートを使えば、調和の取れたカラーデザインを行うことが可能だ。

建築など人を取り巻く環境は形状やテクスチャー、色などの各要素を踏まえたうえで作る必要がある。ちなみに光と形状は建築家が得意とするところだが、テクスチャーと色は我々シュトー社が得意とするところだ。

品質はディテールに現れる

建物をデザインする時は、周囲の環境との調和を考えることも大切だが、評価は外観で判断されることを覚えておかなければならない。以前、我々がリノベーションされる予定の建築物でデザインを手がけた時は、外観を1色で仕上げても通りがかった人たちに「綺麗になった」と思ってもらえただろうが、私たちは特別な仕事をしたいと思っていたので、外観をいくつかのパートに分けて、それぞれ違った色を用いることにした。いくつかの色を用いてもバラバラではなく、統一感あるイメージに仕上げたことで、所有者も気に入って



マルクス・メルクト氏が例に挙げたリノベーション建築物。異なるカラーを巧みに使ってデザインしている



シュトー社のカラーチャートの例。使いやすく、施工に関する様々な情報もわかるようになっている

れて、そこに住んでいる人の90%以上の人も建物が特別なものになったと答えてくれた。

その物件ではとても強い印象の色を用いるのが大切と考え、オレンジ、紫、グリーンを用いたが、例えば紫の部分はオレンジ色の反射を受けたところが温かく、グリーンの反射を受けたところは少し冷たくなっている。このように色は他の色と光の影響を受けるので、簡単に言葉で表せるものではないことがわかってもらえるだろう。また、物の品質はやはりディテールに現れるので、質感の高いものを造ろうとするのであれば、ディテールにこだわる必要がある。これは建築でも同じで、その物件では窓廻りなど細かい部分までしっかり色を付けている。

あらゆる感覚への対応が必要

デザインは人の感覚や感情と深く関わっており、普段我々が受け取る情報のうち、約8割は目から入手しており、残りは耳や手などから得ている。つまり、あらゆる感覚に対応できることがデザインとして重要になる。また、デザインは全ての人々のために行うものであり、机に座って仕上げるだけでなく、アイデアをビジョンとして提案・提供することが大切になる。居心地が良いものであること、そしてインスピレーションを与えられるものであること。両方ともに欠かせないことだ。



セミナーではマルクス・メルクト氏を囲んでカラーデザインのワークショップも実施。参加者に同氏が直接アドバイスをを行った

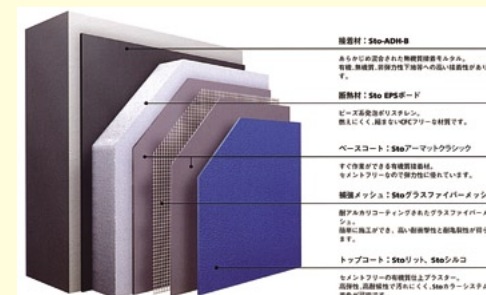
ニュース・セレクトジョン

透湿外断熱普及へM I C発足

アイカ工業(株)、(株)サンクビット、野原産業(株)の3社では、RC建築物の外壁に透湿性がある断熱材と湿式外装材を施工するシステムの普及促進を目的として、10月に「透湿外断熱システム協議会（M I C）」を設立し活動を開始した。

透湿性のある発泡ポリスチレン断熱材と下塗り材、仕上げ材などで構成される透湿外断熱システムは、ヨーロッパで45年、北米で35年にわたって施工されており、①接着方式を基本とする断熱材取り付けにより熱橋を最小限に抑制②全て透湿性のある材料の採用により躯体の水蒸気を適切に排出可能③荷重が小さいので躯体への負荷が少なく地震や火災時にも脱落しにくい—などのメリットがある。

これまで日本では野原産業（北海道では(株)ダンネット）のシュトーマクラシックを始め、各社が異なる透湿外断熱システムを取り扱っていたが、今回の協議会設立によって相互に協力しながら共通課題に取り組み、よりいっそうの普及を図っていく考えだ。



北海道ではダンネットが取り扱っているシュトーマクラシックの構成図

ダニ・カビの調査モニター募集

（財）住宅リフォーム・紛争処理支援センターでは、国の委託を受けて実施するカビ・ダニ実態調査のモニター住宅を、現在募集している。

対象となる住宅は2名以上で住んでいる新築後2年以上の木造戸建住宅（プレハブ除く）またはRC造の共同住宅で、床がフローリングのリビングまたは寝室で測定できること、応募者は冬期（来年1～2月）、夏期（同6～8月）の2回とも同じ部屋を測定でき、ある程度建築の知識を持っていることが条件。費用は無料で、測定結果は解説書とともに個別に報告される。

応募はホームページ（<http://www.chord.or.jp/>）にある応募用紙に必要事項を記入のうえ、FAXか郵送する。締め切りは来年1月10日（火）で、予定数になり次第募集を終了する。詳しくは同センター（☎03-3556-5559）へ。

リフォームの実務書発売

有限責任中間法人日本増改築産業協会（ジェルコ）では、リフォームビジネスに必要な知識を網羅した実務書「リフォーム・ハンドブック06-07版」を発売した。

同書は経営・営業手法からプレゼン、施工管理、クレーム対策までリフォーム業に関わる全ての知識・ノウハウをまとめたもの。社員研修や実務面での問題解決などに幅広く活用できる。A5判・370ページで定価3,000円（税込・送料別）。ホームページ（<http://www.jerco.gr.jp/shop.html>）から注文を受け付けている。問い合わせはジェルコ本部事務局（☎03-5541-6050）へ。



基礎断熱で施工する時の注意点は？

Q…施工を合理化するため基礎断熱の採用を検討していますが、どういうところに注意したらいいのでしょうか？

A…基礎断熱は、1階床を断熱せずに基礎コンクリートの外周部に断熱材を施工し、1階床下を室内空間として取り込む工法です。基礎コンクリートや地盤の熱容量を活かすことで室内温度が安定する点と、面倒な1階床廻りの断熱・気密施工が簡略化されることで、安定して高い気密性能を確保できる点などが特徴で、北海道や東北ばかりでなく、関東以南のビルダーでも採用例が見られるようになってきました。

施工にあたっては、基礎の天端均しの精度を上げること、基礎天端と土台との間の気密化をしっかり行うことがポイントになります。

天端均しと基礎天端・土台間の気密化は、基礎断熱の気密性能を大きく左右する大切な部分で、基礎天端はレベラーなどの専用部材を使って水平誤差を±2mm以内にするのが重要。基礎天端・土台間の気密化はパッキン材やパッキン付き

先張りシートを基礎天端と土台の間に挟む方法が主流です。基礎断熱材と布基礎の間に挟んで立ち上げた先張りシートを土台の下または上に通して1階外壁の防湿・気密シートと連続させる方法もあります。この場合、土台の下に通すなら防湿・気密シート、土台の上に通すなら透湿・防水シートを使



基礎断熱でパッキン付き先張りシートを基礎天端に施工している現場。この後土台を敷いて最終的に外壁の防湿・気密シートと連続させる

います。シートの種類を間違えると土台の結露・腐朽を招く恐れがあるので要注意です。

また、基礎断熱では床下空間が室内に取り込まれるため、床組木材は居住者の安全を考えて、ヒノキやヒバなど薬剤による防腐・防蟻処理が不要な樹種を使います。さらに床下に湿気や汚れた空気がこもらないように、床下を換気径路に含めるなど積極的に床下空間の空気を対流させることも考えましょう。

●編集●後●記●

◆冬本番の北海道ですが、事務所の前で1週間に3件の交通事故が起きました。いずれも大事には至らなかったようですが、冬道の始まりは特に注意しなければいけないと社内でも周知しているところです。(佐野)

♣いよいよ北海道も冬本番。来年のゴールデンウィークまで灯油がこれ以上値上げにならないのを祈るばかりです。値上げになったらウォーム・ビズしかないでしょうけど、服装が厚ぼったくなるのはどうも苦手です。(水越)



株式会社ダンネツ

ホームページURL <http://www.dan-netsu.co.jp/>
E-mailアドレス info@dan-netsu.co.jp

「快適な住まいづくり」はお任せ下さい！

●フローリング工事 ●気密・換気工事 ●防水工事
●ガラスウール工事 ●吹付・注入工事 ●パネル製造

■本 社	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目63-636	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町2962番363	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木5丁目15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目63-636	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町174番地16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■千歳営業所	〒066-0008 千歳市根志越2190-27	TEL(0123)26-4111 FAX(0123)26-4112
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町16番2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■高崎支店	〒370-3523 群馬県群馬郡群馬町大字福島738番地1	TEL(027)373-7199 FAX(027)373-5583
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土4丁目2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸営業所	〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡3660-15	TEL(029)291-1822 FAX(029)291-1825
■ダンネツ信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016